

インフルエンザが流行っています

現在、インフルエンザが猛威を振るい、県内でも多くの学校が学級閉鎖、学年閉鎖の処置を取っています。本校では、まだ、蔓延するには至っていませんが、数名の感染者が出てきている状況です。今後、しっかりと感染防止に努める必要があります。手洗いうがい、そして、ご家庭のご判断でマスクの着用をお願いします。

また、**今週21日(金)**には、キャナルシティ博多にて「オペラ座の怪人」を視聴します。密室の会場に一般のお客様も鑑賞します。**当日に関しては、必ずマスクの着用**をお願いします。



作品紹介

○児童表彰

【第34回春日市弥生の里児童画大賞展】

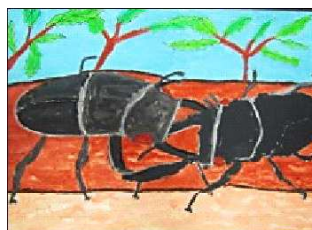
テーマ 「わたしの思い出」

【入選】「のこのしまのクワガタバトル」

H・R さん(1年)

【入選】「強いぞ、私のヘラクレスオオカブト」

M・N さん(2年)



H・Rさんの作品



M・Nさんの作品

Hさん、Mさん、作品の受賞、おめでとうございます。二人の作品は、「第34回春日市弥生の里児童画大賞受賞作品展示会」に展示されます。期間は12月5日(金)～14日(日)の10:00～17:00です。

お知らせ

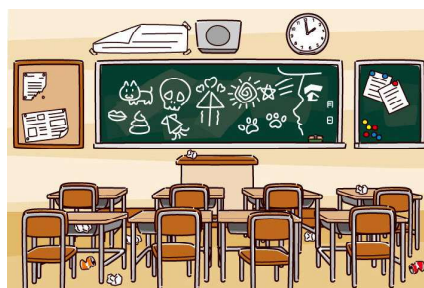
○環境の違いによって

本校は敷地が広く、自然も豊かな学校です。従って、草木もグングン育ちます。校務員の黒木さんが草刈りや剪定等の環境整備をしてくれているのですが、この広さのため、私も時には草刈りのお手伝いをすることがあります。特に、裏山の子どもが遊ぶことがないところは、伸び放題になっていることが多く、草刈りも大変です。そんな場所では、ちょっと大きな蜘蛛や毛虫などスリリングな生き物たちに出会うこともあります。ただ、草木が茂ってワサワサしている環境の中ではそんな生き物たちに出会っても、「どいた、どいた！速く逃げないと草と一緒に刈られてしまうぞ！」と余裕のアドバイスを送るほど、平気になっています。ただ、こうした生き物に、綺麗に整えられた真っ白の部屋などの環境の中で出会ったら、きっと、ゾッとしてしまうことでしょう！同じ生き物に対してでも、どこで出会うかという環境の違いによって、感じ方も違ってしまいます。



学校の教育環境でも同じことが言えるでしょう。片付けが悪く、床や棚にいろいろな物が散乱している環境の中では、ある程度、それが当たり前と感じられ、自分もちょっとぐらい散らかしても平気になってしまうことでしょう。しかし、これとは反対に、整理整頓が行き届いた環境の中では、散らかすことに罪悪感を抱くことと思います。

これは、物的な環境ばかりではありません。汚い言葉が飛び交う環境、誰かのことをコソコソ悪口を言うような環境、といった言葉遣いや人間関係がみられる環境の中では、それが慢性化し、知らず知らずのうちに同様の言葉を使ったり、人の悪口を言ったりしてしまうことがあるかもしれません。それが高じれば、そうした環境に嫌悪感を抱き、教室に入ることに抵抗を感じてしまう場合も出てきてしまいます。



真っ白なお部屋のような無菌状態で、物的、人的環境にも敏感すぎるようなことでは、またいけないのかもしれませんが、子ども達には様々な面である程度整った環境の中で過ごさせてあげたいと思います。

そのためには、まず、学校やご家庭で、子ども達が生活の目に見える部分、聞こえてくる部分をしっかりと整えてあげたいと思います。そして、さらに、SNSやLINE等も含めた、子ども達の見えにくい部分にも竿をさしてみる必要があるのかもしれません。

